



校友会紙



第49号

発行所  
東北歯科技工専門学校  
校友会広報委員会

〒982-0841  
仙台市太白区向山四丁目27の8  
TEL (022) 266-0237  
FAX (022) 266-0238  
URL <http://www.toushigi.ac.jp>  
E-mail info-2@toushigi.ac.jp

# 若い息吹を復興のともしびに！

## がんばろう東枝 7月17日総会開催 菅野会長勇退

来る7月17日(日)午後1時より仙台カーテンバスにて、東北歯科技工専門学校校友会の総会が行われる。

未曾有の大災害の年、開催が危ぶまれたが、会長はじめ役員諸氏の強い気持ちで全員一致で決定された。しかしながら、今回の震災では校友会員の多数が様々な被害を被っている。

未曽有の大災害の年、開催が危ぶまれたが、会長はじめ役員諸氏の強い気持ちで全員一致で決定された。しかしながら、今回の震災では校友会員の多数が様々な被害を被っている。

未曽有の大災害の年、開催が危ぶまれたが、会長はじめ役員諸氏の強い気持ちで全員一致で決定された。しかしながら、今回の震災では校友会員の多数が様々な被害を被っている。

未曽有の大災害の年、開催が危ぶまれたが、会長はじめ役員諸氏の強い気持ちで全員一致で決定された。しかしながら、今回の震災では校友会員の多数が様々な被害を被っている。

未曽有の大災害の年、開催が危ぶまれたが、会長はじめ役員諸氏の強い気持ちで全員一致で決定された。しかしながら、今回の震災では校友会員の多数が様々な被害を被っている。

未曽有の大災害の年、開催が危ぶまれたが、会長はじめ役員諸氏の強い気持ちで全員一致で決定された。しかしながら、今回の震災では校友会員の多数が様々な被害を被っている。

未曽有の大災害の年、開催が危ぶまれたが、会長はじめ役員諸氏の強い気持ちで全員一致で決定された。しかしながら、今回の震災では校友会員の多数が様々な被害を被っている。



福島県

### 東日本大震災に立ち向かう 会長 菅野恭助

木々の緑が目にも鮮やかな季節となりました。この頃、会員の皆様方にはご健勝のことと推察致します。さて、平成22年度も終わろうとしたあの日、M9.0という、今まで誰も経験したことがない、1000年に一度という「2011.3.11東日本大震災」が起こりました。

母校においても建物や工器具類など多大な被害が出ましたが、幸いにも学生への人的被害がなかったことや、地震の前日に母校の第45回生の卒業式で、それが恙なく挙行できたことが救いでした。

そのような混乱の中でも今年の定時総会の時期が参りました。催しは自粛した方がよいのではないかと意見もありますが、いかに困難であつても、生き残った私たちがその困難に立ち向かつて進んで行かなくてはなりません。立ち向かうという意欲こそが今後の活力になって行くものと確信しております。

特に今年の総会と懇親会には例年にも増して多くの会員が積極的に参加して頂き、大盛況の内に明日からの復旧活動の糧にしていきたいと思います。

さて、昨今歯科界では一つの朗報として良いと思われ、歯科医療における歯科技工士の義歯修理に、保険点数が認められたこと、一見あまり関係ないことのように思えますが、今までは完全に無視されてきた義歯修理という行為に対し、この目が当てられたという日は注目しなくてはならないと考えます。何事も小さなことから一歩一歩前進すること

と櫻山美紗穂さん(34回生)である。菅野君には「オーラウンダー」の技工を目指して「櫻山さんには「女性技士」として」との演題で発表会をして頂く。以前から役員間で要望のあった卒業生の研究発表会、両氏の力量に期待してみたい。今年はまだ役員改選の年にあつていて、菅野恭助会長の勇退が決まった。留任の声が多かつたが本人の辞意の意思が固く9年在位した席は、現副会長の小松勝氏にバトンタッチされる。新会長の下、決意も新たに結束を深めていかねばならない。総会、研究発表会出席は全て無料、懇親会出席は、破格の3千円で、校友会頑張りました。ぜひぜひご参加を！

とが大なることではないでしょうか。このような意味から国の機関が「歯科技工士」にスポットライトを当ててくれたということが大事なことだと思います。前号でも書きましたが、つい最近までは取り上げられることが皆無に等しかった歯科技工士の職業について、多くの注目を浴び認識されたということです。

若い会員ふたりにそれそれの立場での研究発表をしていただく予定にしております。多くの皆様に出席を頂き、校友会が更に発展していくよう多大なるご協力を重ねてお願い申し上げます。最後になりますが、私も約9年間会長を務めさせて頂きました。今年役員改選の年であり、校友会にも新しい風を入れて更なる発展を期して会長職を退くことに致しました。長い間皆様方のご支援を頂き本当にありがとうございました。理事会、評議員会にて次期会長には小松勝氏が内定しております。次期会長の下、校友会が益々魅力のある会になることを願っております。

### 震災見舞御礼

母校長 鎌田 勇志

東日本を襲った大震災から三ヶ月以上経過しましたが、震災に遭われた会員の皆様方には心からお見舞い申し上げます。二年生は卒業してしまいましたが、一年生は授業中でした。教員の誘導指示で全員が避難し、学生教職員に一人もけがが出なかったことは不幸中の幸いだったと思っております。校舎も一部損壊しましたが、専門家の診断の結果、使用に差し支えないという結果が得られ、破損箇所の補修工事をしております。ただ、実習用の多くの機械が落下による被害を受けました。しかし、卒業生の方や、卒業生や本校教員の知人の方々から機械や義援金の支援があり、実習に差し支えない状態となっております。また、関東方面の卒業生が中心となって、四月末に支援学術大会を開催して頂き、義援金を頂戴しました。学生の授業に生かすように使わせて頂きたいと考えております。私たちの全く知らない人たちからの支援の申出もあり、今回の震災で人のつながりの大切さを肌で強く感じることができました。これも卒業生の方々のこれまでの活躍の賜と深く感謝しております。この場をお借り致しまして、心より厚く御礼申し上げます。

## 24年度学生募集

推薦入試試験日  
一次募集 平成23年10月15日(土)  
二次募集 平成23年11月12日(土)  
三次募集 平成23年12月10日(土)

一般入試試験日  
一次募集 平成23年11月12日(土)  
二次募集 平成23年12月10日(土)  
三次募集 平成24年1月28日(土)  
四次募集 平成24年2月25日(土)  
五次募集 平成24年3月22日(木)

※他に社会人(既卒者)・大学・短期大学卒業生入試もあります。

本校卒業生のご子弟やご兄弟が、入学するときに特典があります。詳細はお問い合わせ下さい。 TEL022-266-0237

## 東北歯科技工専門学校





